



成田赤十字病院

日本赤十字社



成田から
世界の医療を
救う

JAPANESE RED CROSS
NARITA HOSPITAL

| Recruit Guide |

県内唯一の 赤十字病院として、 質の高い看護サービスを 提供します

当院は救命救急センターの設置、地域周産期母子医療センター、災害拠点病院などの指定を受ける千葉県北総地域の基幹病院です。

また成田国際空港を控えて海外からの感染症に対応する特定感染症病床を備え、赤十字の使命である国内・海外の災害救護への即応体制を整えています。

看護部がめざす「こころ温かい看護」を、あなたのキャリアの出発点にしてください。

Message



副院長 兼 看護部長 高柴 律子

安全でこころ温かい医療の提供について

当院の看護体制は、固定チームナーシングとディ・パートナーシップを導入し、新人看護師や中途採用者が相談しやすいシステムとなっております。また、在院日数の短縮に伴い患者・家族の方々が安心して在宅に戻れるように、退院前にご自宅訪問を積極的に取り入れ始めました。特に、高齢者との生活経験のない看護師にとって、実際に生活の場を見ることで退院指導の適切さを振り返り、安心して退院できるよう目指しています。



看護理念

私たちは、赤十字の理念に基づき、患者の人權を尊重し、時代に即応した質の高い看護サービスを提供します。

ビジョン

- ① 赤十字看護師として、患者個々に即応した質の高い看護を提供する
- ② 患者・家族の気持ちに寄り添い患者満足度を高める
- ③ 知識・技術・態度を身につけ、根拠に基づいた安全・安心な看護を提供する

方針

- ① 心優しい看護を提供する。
- ② 安全な看護を提供する。
- ③ 専門性の高い看護を提供する。

- ④ グローバルな視点を持ち、多職種及び地域との連携を強化し、チーム医療を推進する
- ⑤ 専門職業人として、互いの成長や学びを支えながら自己啓発に努める

一人一人がやりがいを感じ、 いきいきと働きながら成長しています

普段あまり聞くことのできない先輩看護師に病棟の様子や、新人看護師研修のこと、救護班の活動内容などについてインタビューしました。

血液腫瘍内科
(A7 東) 病棟
入社1年目



入職の決め手はキャリア開発と 思い描く看護師像を目指せる環境

私は他県の学校に通っていましたが、地元で働きたいと考え当院の説明会に参加しました。特徴の1つでもあるキャリア開発システムでは、一生をかけ自分の看護を追究し磨いていけることや、新人看護師研修では個々に合わせた指導で知識や技術を確かな力にすることが出来る点に魅力を感じました。また、多くの診療科があることや災害看護にも力を入れ、更には国際空港も近く様々な国籍の方々とも関わる機会があります。医療が必要とされる中で最先端の医療を学べるのはもちろん、多くの特徴を踏まえた当院に就職することで私の目指す看護師像に近づけると考え志願しました。

希望部署へ所属し、 目標に向けて日々、研鑽

学生のころから循環器に興味があり現在の病棟を志願し所属しました。急性期ということもあり、手術後や心不全が悪化し様々な苦痛を抱える患者さんも多く、多忙で時には大変なことや辛いこともあります。しかし、患者さんとの関わりの中で様々な事を学ばせてもらい自身の成長とやりがいを感じることが出来ます。今後の目標は循環器の知識をより深めること、退院後に患者さんと家族が望む生活が送れるよう考えながら看護を提供していきたいです。患者さん一人一人の抱える問題やニーズを多角的に捉えられるように自己研鑽を積み、患者さんにとってのより良い看護を目指していきたいです。

循環器内科・
心臓血管外科
(A6 西) 病棟
入社2年目



新人看護師のフォロー体制が充実 心強い先輩方がメンタル面もサポート

新人看護師研修で基本的な看護技術を学び、病棟で先輩方に指導していただきながら実践してきました。病棟全体で新人看護師のフォロー体制が充実していることが実践していく上で心強かったです。最初は患者さんの個別性に合わせた看護を提供することが難しかったです。経験を重ねることにより患者さんの状態に合わせた看護が少しずつできるようになってきました。また、3年目の先輩方を中心としたサポーター制度もあります。入職の際は不安でいっぱいでしたが、いろいろな相談に乗ってもらい、メンタル面のサポートもしていただきました。



外科・泌尿器科・
皮膚科(A5西)病棟
入社3年目

救護班の活動を通して改めて感じる 共助の重要性

北海道胆振東部地震発災時に、5日間救護活動を行いました。北海道へはフェリーで18時間かけて苫小牧に向かい、そこから陸路で災害対策本部がある厚真町を目指して車で移動しました。今回の救護活動では、6か所の避難所を巡回し、慣れない避難所生活により、血糖コントロールが出来ないと不安を感じている方に、血糖測定を行い、食事や間食についてアドバイスをさせていただきました。それぞれの避難所では、被災者の皆さんが人参やカボチャなどの農作物を持ち寄り、お互い助け合いながら前向きに避難生活をしており、共助の重要性を改めて感じました。



看護師長

新人看護師を病棟全員でサポート 相談しやすい環境を整えています

教育理念

看護職員が専門職として、質の高い看護サービスを提供できるように、能力開発を支援し、看護職員のキャリア開発をめざす。

求める看護師像

時代の変化に即応した質の高い看護サービスを提供できる看護師

他職種と協働しながら、
自立した看護サービスが提供できる。

相手の立場を尊重した素直な心を持ち、
あたたかい心遣いで看護実践ができる。

専門的な知識、技術、態度を身につけ、
専門職業人として自己研鑽に努めることができる。

自己の私生活も大切にしつつ、職業人としての調和がはかれ、
自己実現に向けて取り組むことができる。

自分の意見をアサーティブに伝えられ、
組織人として建設的な問題解決ができる。

1日のスケジュール

当院はシフト勤務となりますが、日勤のスケジュールを参考に1日の流れを紹介します。

8:30 ○ ウォーキングカンファレンス

9:30 ○ 清潔援助

看護度に応じて、一週間ごとに立案したケアプランを元に毎日のケアを実施します

10:00 ○ 点滴交換

点滴は注射指示書に基づき、看護師と患者さん双方で確認し、バーコード認証後実施します。

11:00 ○ 回診介助

医師との回診の他、栄養サポートチーム、褥瘡など専門スタッフによる回診があり、患者さんと一緒に治療の計画を立案します。

12:00 ○ 食事介助

患者さんの看護度に合わせて、食事のお手伝いをします。

12:30 ○ お昼休憩

13:30
交替でお昼休憩をとります。

13:30 ○ カンファレンス

看護計画の評価や医師、理学療法士、ソーシャルワーカーなど、他職種を含めた話し合いを行います。

13:30 ○ 検温

14:30
バイタルサインや状態を観察するだけでなく、困っている事や不安に思っている事も情報収集します。

14:30 ○ 患者さんへの説明

安心して手術や検査が受けられるように説明を行います。

14:30 ○ 看護記録

16:30
看護計画、問題点に沿う情報や実施した看護、患者さんの様子を記録します。

16:30 ○ 申し送り

継続した看護ができるよう、日勤者から夜勤者へ患者さんの情報を提供します。

17:00 ○ 業務終了



点滴交換



点滴認証



回診介助



カンファレンス



検温



記録

1年目は研修が多くあり、色々なことを学んでいく1年になります。

各病棟で教育担当係長や経験豊富な実地指導者がいるので、一人一人の進捗に合わせて丁寧に技術指導を行います。また、サポーターは入社3～4年目の看護師が担当し、悩み事などの相談に乗ってくれるのでサポート体制もしっかりしています。

1年目年間スケジュール

1年目の年間スケジュールです。新人のときは心身ともに疲労を感じやすいので、当院では新人看護師のメンタルケアのために公認心理師がプライバシーを保護しながらきめ細かく対応しています。

<p>4月</p> <ul style="list-style-type: none"> 入社式 新人歓迎会 採血研修 静脈注射研修 フィジカルアセスメント研修 感染研修 移送・トランスファー研修 	<p>10月</p> <ul style="list-style-type: none"> 6か月面接 病院祭「ふれあい広場」 災害・防災管理研修 	 <p>静脈注射研修</p>
<p>5月</p> <ul style="list-style-type: none"> 1か月面接 食事介助研修 与薬研修 	<p>11月</p> <ul style="list-style-type: none"> 救急法 	 <p>救急法</p>
<p>6月</p> <ul style="list-style-type: none"> サポーターとの交流 死後のケア研修 心のストレスケア研修 フレッシュセミナー(千葉県看護協会研修) 救急・急変時の看護研修 	<p>12月</p> <ul style="list-style-type: none"> 駅伝大会 	 <p>フィジカルアセスメント研修</p>
<p>7月</p> <ul style="list-style-type: none"> 急変時対応研修 新人リフレッシュ研修 夜勤スタート 3か月面接 	<p>1月</p> <ul style="list-style-type: none"> ナラティブ目標管理 	 <p>多重課題研修</p>
<p>8月</p> <ul style="list-style-type: none"> 病棟納涼会 夏期休暇 (6月から10月に1週間程の夏休み) 	<p>2月</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域看護研修 	 <p>救急法</p>
<p>9月</p> <ul style="list-style-type: none"> 看護課程研修 多重課題研修 	<p>3月</p> <ul style="list-style-type: none"> 1年面接 リフレッシュ研修 	<p>病院祭「ふれあい広場」看護体験ツアー</p>

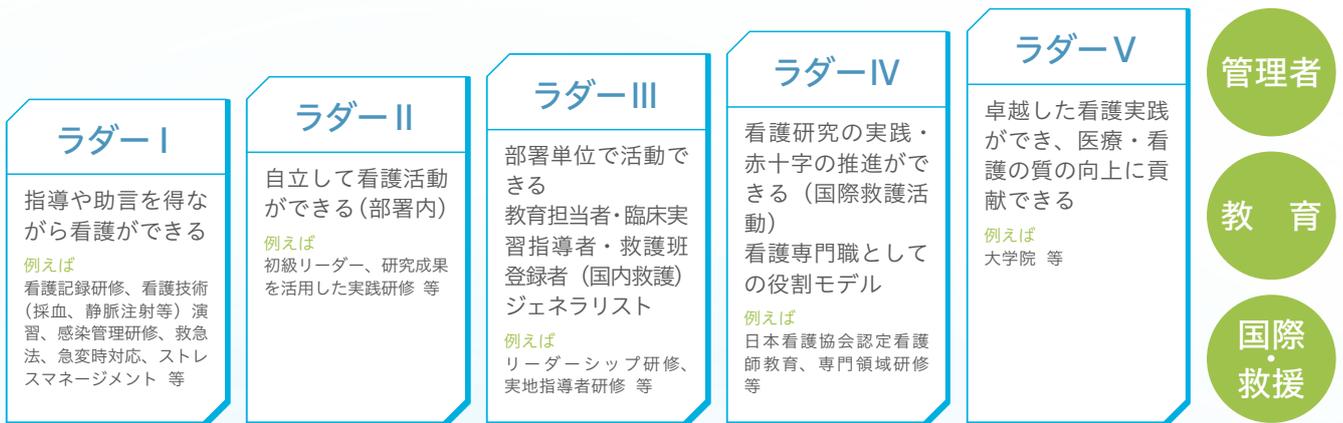
なりたい自分へ近づくための キャリアアップ

キャリア開発システム

日本看護協会が定める「看護師のクリニカルラダー」に沿い、必要な技術や知識を習得できるように配慮した教育研修を行っています。日本赤十字社の病院で同システムを使用しているため、他の赤十字病院へ異動した場合もキャリアを継続することができます。

目的

- 1 赤十字の理念に基づいた「赤十字の看護師の看護実践能力」の到達目標を段階的に明示し、その到達をめざすことにより、質の高い看護や医療を提供でき、また赤十字事業の推進者となる看護師の育成を図る。
- 2 新人の時期から生涯にわたり、継続的に自己研鑽を積むことができる研修支援体制も含めた仕組みの導入により、看護師の能力開発の動機づけを促進し、職務満足を向上する。
- 3 キャリア開発の一環として各赤十字医療施設期間の人事交流を促進することにより、赤十字の看護師の質の向上を図る。



VOICE



ラダーⅠ

手術室
入社2年目

ラダー取得に向けた様々な研修を通して、多くの看護知識・技術を習得することができ、一つ一つの行動に対する責任意識が変わったと思います。手術室という特殊部門ではありますが、ラダーⅠで学んだことを活かし、引き続きステップアップを目指し頑張っていきたいです。

VOICE



ラダーⅡ

外科、呼吸器外科、
口腔外科緩和診療科
(A5東) 病棟
入社6年目

これまでの看護を認められたようでとても嬉しく、今後のモチベーションになりました。以前は自分自身のことで精一杯でしたが様々な研修で学び、ほかのスタッフや病棟全体も意識した看護を行えるようになりました。現在はラダーⅢ取得に向けて取り組んでいます。レベルアップしていきたいです！

VOICE



ラダーⅢ

外科、呼吸器外科、
口腔外科緩和診療科
(A5東) 病棟
入社8年目

ラダー取得のための研修を受けることで実地指導者や地域看護など新たな視点を学び、自己の課題や不足している所を見出すことができました。現在は病棟に限らず外来業務など様々な経験を積んでいます。今後は自己の学びを後輩へ伝え、さらに自己のキャリアアップを目指していきたいです。

資格取得支援

当院では、休職制度を利用し大学・大学院への進学や、数年間勤務している場合、出張として給与を受け取りながら助産師学校へ行くことが可能です。大学院での助産師資格取得の場合、出張と休職制度の利用が可能です。

大学・大学院進学支援



ICU 病棟
入社15年目

私は大学への編入学と大学院進学のために休職制度を利用しました。「実践の科学」と言われる看護について臨床での実践と最新の知見とを行き来しながら学び続けることは、大変貴重な経験だと感じています。また在学中に復職した際には勤務調整にも応じてくれ、働きながら学ぶことを応援してくれる環境でもあったと思います。

助産師資格取得支援



産婦人科 (A3E) 病棟
入社8年目

看護学生の頃から助産師になりたいと思っており、産婦人科病棟に勤めて3年目に助産師学校へ合格しました。ラダーIIを取得することで当院の制度を利用でき、1年間出張扱いでお給料をもらいながら助産師学校へ通うことができました。今は助産師として産科で働いています。少しでも成長できるよう基礎が身につくまで5年間頑張りたいと思います。

専門・認定看護師資格取得支援

認定看護師の資格を取得するためには、実務経験が5年以上必要であり、そのうち通算3年以上は、取得を希望する認定看護分野での実務経験が必要となります。また、看護師教育機関の認定審査合格後、認定看護師専門研修期間において6ヶ月（615時間）以上の授業を受講する必要があります。研修期間については、出張として給与をもらいながら講義を受講することができます。

専門看護師 計1名

急性・重症患者看護	1名
-----------	----

認定看護師 計25名

がん化学療法看護	1名	緩和ケア	2名	精神科認定看護師	2名	糖尿病看護	2名
皮膚・排泄ケア	3名	脳卒中リハビリテーション看護	2名	集中ケア	3名	乳がん看護	1名
摂食・嚥下障害看護	1名	がん性疼痛看護	1名	新生児集中ケア	2名		
認知症看護	2名	手術看護	1名	感染管理	2名		

VOICE



皮膚・排泄ケア認定看護師

認定看護師の資格を取得したことで、最善のケアを患者さんへ提案

皮膚・排泄ケア認定看護師は、入院中の褥瘡や創傷、人工肛門をつくられた患者さんや失禁のある患者さんに対してアセスメントを行い、ケアを行っています。

褥瘡、創傷に対しては、早期の治癒を目指し病棟スタッフ、多職種と連携しながら個性を踏まえたケアを提供し、再発予防にも取り組んでいます。褥瘡を保有したまま在宅に戻る方には家族・訪問看護師などとカンファレンスを行っています。皮膚のケアは目に見えて改善がわかるため、患者や家族、医療チームで喜びを共有できることが醍醐味だと思います。

人工肛門や失禁など排泄は生活から切り離すことができません。入院中から退院後の生活を見据えたケアを提案し、人工肛門に関しては退院後も専門外来で継続的にかかわることで不安が軽減できるよう努めています。

安心して働ける環境と サポート体制

当院では、看護師寮、産前産後休暇、育児休業、育児短時間勤務、子の看護休暇、介護休暇、託児所などの福利厚生も充実しているので安心して働ける環境が整っています。

看護師寮

独身女性専用のマンションタイプの寮です。寮から病院まで徒歩3分ととても近いので、行き帰りも安心です。近くにコンビニエンスストアやファミリーレストランもあります。

設備

エアコン
システムキッチン
IH調理器具
追い炊き機能付浴槽
ユニットバス暖房乾燥機
室内壁付物干し
床下収納
オートロック(カードキー)
カラーモニター付インターフォン
フローリング



出産・子育て支援

仕事を続けながら出産や子育てができるような環境づくりを行っています。支援制度を利用しながら活躍するママさん・パパさん看護師が沢山います。

産前産後
休暇

育児休業

育児短時間
勤務

子の看護
休暇



託児所

夜勤の時にも
あずかってもらえます。

TOPICS

制服紹介

2022年4月より制服が新しくなります。女性看護師用、男性看護師用、救急部門等看護師用と分かれていて、女性は襟、袖、ポケットのラインがピンクと水色の2種類があり、ご自身で好きな色を選ぶことができます。

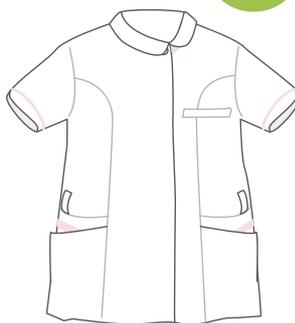
男性
看護師用



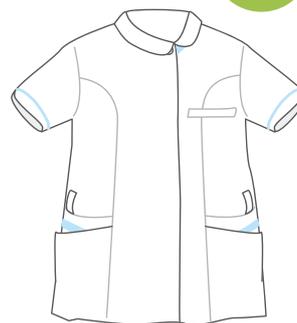
救急部門等
看護師用



女性
看護師用



女性
看護師用



北総地域の中核病院として、 救急医療・急性期医療体制が充実

当院は救命救急センターの設置、地域周産期母子医療センター、災害拠点病院などの指定を受けている千葉県北総地域の基幹病院です。また、成田国際空港に隣接した病院として、日本国内に4か所しかない特定感染症病床を有し、海外からの感染症の脅威に対して即対応できる体制を構築しています。

病院概要

開設年月日 昭和 23 年 2 月 1 日

標榜診療科 内科、消化器内科、循環器内科、血液腫瘍内科、呼吸器内科、糖尿病代謝内科、腎臓内科、リウマチ内科、アレルギー内科、精神科、脳神経内科、小児科、外科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、小児外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、歯科口腔外科、麻酔科、緩和ケア外科、病理診断科

特殊設備 救命救急センター、集中治療室 (ICU)、新生児センター (NICU)、人工透析センター、リハビリテーションセンター、無菌治療室、感染症病床 (特定一種・二種)、健康管理センター、人間ドック (2日・日帰り)、緩和ケア病床

病床数 714 床 (一般 657 床・精神 50・感染症 7)

職員数 1,409 名

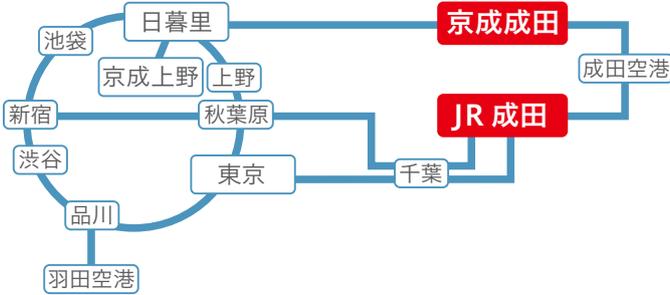
機能 地域医療支援病院、災害拠点病院、臨床研修指定病院、千葉県がん診療連携協力病院、ヘリポート (救命救急センター対応・災害活動等)、印旛山武地域難病相談支援センター、地域周産期母子医療センター



フロア図

8F	患者図書室、肺がん治療センター、講堂、洗濯室									
7F	血液腫瘍科、無菌治療室	泌尿器科、総合内科、リウマチアレルギー内科、皮膚科								
6F	糖尿病・内分泌代謝内科、腎臓内科、眼科、形成外科	血管内治療内科、心臓血管外科					病歴室、会議室			
5F	外科、緩和診療科、歯科口腔外科	外科、消化器内科					管理棟			
4F	感染症科	整形外科					脳神経外科、呼吸器外科		透析センター	
3F	産婦人科、新生児センター、血液腫瘍科	耳鼻咽喉科、脳神経内科	管理棟	管理棟			小児科、小児外科		精神神経科	
2F	検査室、外来、手術室		管理棟、医療福祉相談室	管理棟			救命救急センター、ICU・CCU、HCU		健康管理センター、人間ドック	会議室
1F	受付、会計、薬局、放射線検査、内視鏡、救急、キャッシュコーナー、院外処方せん受付、患者支援センター、文書センター、外来		外来、リハビリテーション科、売店	管理棟	ダイケア	リハビリテーション科、生理機能検査室、通院治療センター		健康管理センター、放射線治療、内視鏡	訪問看護ステーション、講堂	
東館		西館	B 棟		C 棟	D 棟	F 棟	G 棟	研修棟	
A 棟										

Access



JR 東京 駅 ▶ 成田 駅 1 時間 25 分 (快速)
 京成上野 駅 ▶ 成田 駅 1 時間 5 分 (特急)



JR 成田 駅東口よりバスで5分、「日赤病院前」下車
 京成成田 駅西口よりバスで5分、「日赤病院前」下車
 京成公津の杜 駅より徒歩 15 分
 東関東自動車道 富里 ICより 10 分

+ 日本赤十字社 成田赤十字病院

〒 286-8523 千葉県成田市飯田町 90-1
 TEL 0476-22-2311 FAX 0476-22-6477
<https://www.narita.jrc.or.jp/>



Twitter と Facebook を
更新しています

公式 Twitter
 フォローお願いします!
 @narita_jrc

公式 Facebook
 Facebook もチェック!